

姉妹都市提携40周年記念事業

厚岸町×クラレンス市 40th Anniversary

～みんなで考える国際交流プロジェクト～

結果報告書



厚岸町

目的

令和4年2月に厚岸町とオーストラリア・クラレンス市が姉妹都市として提携し、40年の節目の年を迎えたことを記念して、姉妹都市提携のきっかけやこれまでの交流の歴史を多くの方に知ってもらい、交流をより深めるための講話会及びワークショップを開催し、厚岸町とクラレンス市との関わりを再確認するとともに、姉妹都市交流の推進を図ります。

概要

- 日 時：令和4年7月30日（土） 13：30～16：40
- 場 所：本の森情報館 2階 視聴覚室・会議室
- 対 象：①国際交流に興味がある人
②姉妹都市交流事業に携わったことがある人
（姉妹都市中学生等国際交流事業や
ホームステイの受け入れの経験がある人など）
③クラレンス市に訪れたことがある人
- 主 催：厚岸町役場 総合政策課
- グループ：4グループ（計17名）
- テーマ：厚岸町×クラレンス市 40th Anniversary
～みんなで考える国際交流プロジェクト～

当日の流れ

時間		内容
13:10~13:30		受付
13:30~13:45	15分程度	開会の挨拶、内容説明
13:45~14:15	30分程度	講話会
14:15~14:20	5分程度	休憩
14:20~15:00	40分程度	ワークショップ① 前半 ●内容説明、自己紹介・意見交換
15:00~15:15	15分程度	ワークショップ① 後半 ●発表
15:15~15:20	5分程度	休憩
15:20~15:50	30分程度	ワークショップ② 前半 ●内容説明、現状と実体験・理想について
15:50~15:55	5分程度	休憩
15:55~16:35	40分程度	ワークショップ② 後半 ●具体的な施策について、発表
16:35~16:40	5分程度	閉会挨拶

講話会

① 姉妹都市提携のきっかけ～イーモント号の漂着について～ 学芸員（厚岸町海事記念館） 菅原 卓己

○講話内容：厚岸町とクラレンス市の姉妹都市提携の経緯、「日鑑記」等の記録から知る当時の様子など（詳細な内容は別添のとおり）

→姉妹都市提携のきっかけである捕鯨船イーモント号が末広海岸で座礁した話や、船長の体験談、救助された乗組員のその後の話など、貴重なお話を聞かせてもらいました。

② 国際交流団体を立ち上げた経緯について

元国際交流団体「アイリス」 櫻井 悠紀子

○講話内容：本団体を立ち上げた経緯や具体的な交流の内容について

■「アイリス」の由来

- ・アイリス (iris) = アヤメ
厚岸町の花・・・ヒオウギアヤメ
- ・ギリシャ神話に登場する虹の女神・・・アイリス
虹→厚岸町とクラレンス市との架け橋

■国際交流団体「アイリス」は厚岸町とクラレンス市の子供達の交流に係る橋渡しを目的とした女性だけのグループとして設立。

クラレンス市の小学校の先生（ブレッド・マニオン氏）との出会いをきっかけとして、生徒同士の文通、学校交流、ホームステイなどの活動を実施。

→姉妹都市クラレンス市とさらなる国際親善を図り、交流を深めていってほしい。（講師より）

ワークショップ

① 厚岸町×クラレンス市 姉妹都市提携看板のデザインを一緒に考えよう！

今年度姉妹都市提携看板の更新に伴い、看板のフレームを描いた模造紙を各グループに配り、看板のデザインについて意見を出し合い発表してもらいました。

② クラレンス市との交流をより深めるためには

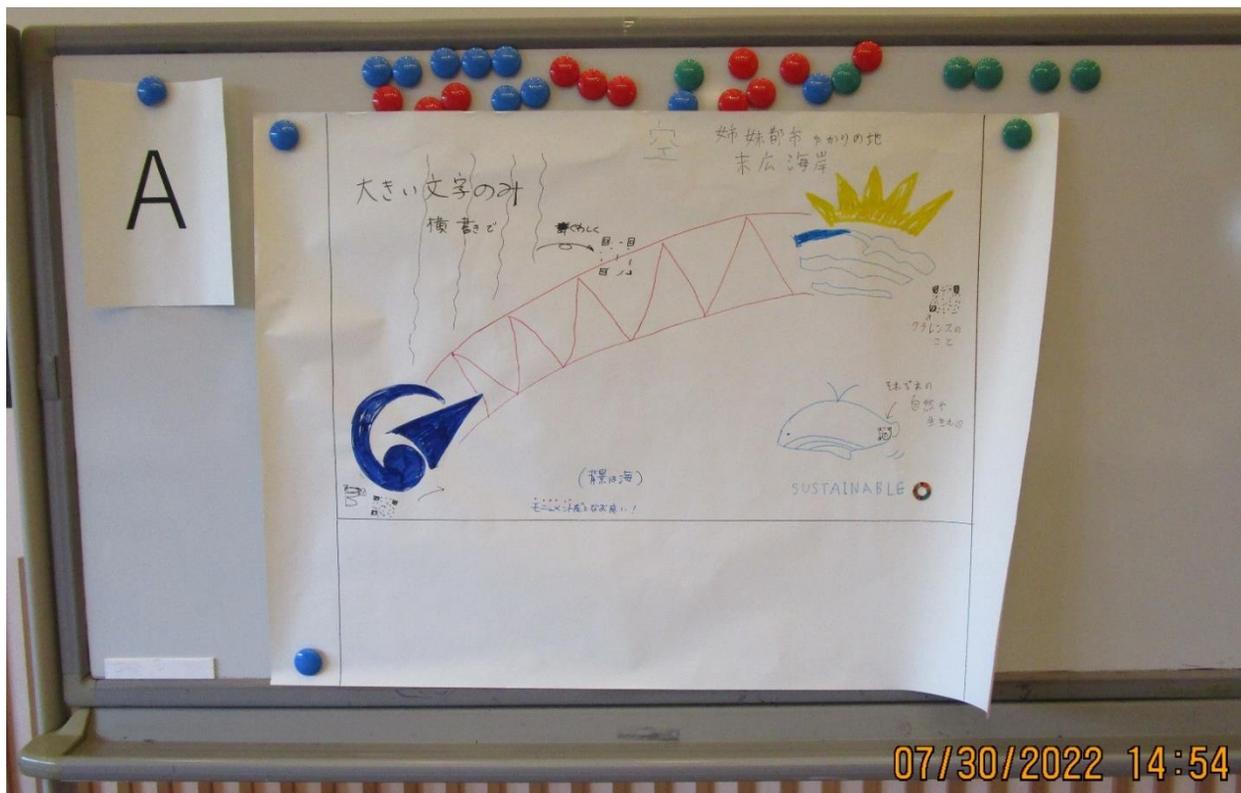
町の実施する姉妹都市交流事業に参加したことのある人から、クラレンス市の良いところやこれまでの姉妹都市交流の内容などを聞き、今後どんな活動をすることで交流のさらなる発展につなげていけるか、他自治体の姉妹都市交流事例も参考にしながら議論し、具体的な施策を考えてもらいました。

ワークショップ①

厚岸町×クラレンス市

姉妹都市提携看板のデザインを一緒に考えよう！

各グループの看板デザイン案



■看板に記入したほうが良いと思う内容

- ・タイトル「姉妹都市ゆかりの地 末広海岸」
- ・厚岸町とクラレンス市のマーク及び姉妹都市同士をつなぐ架け橋
- ・各姉妹都市の生き物や自然の写真
- ・QRコード
(それぞれの市町の紹介や姉妹都市提携の経緯など)



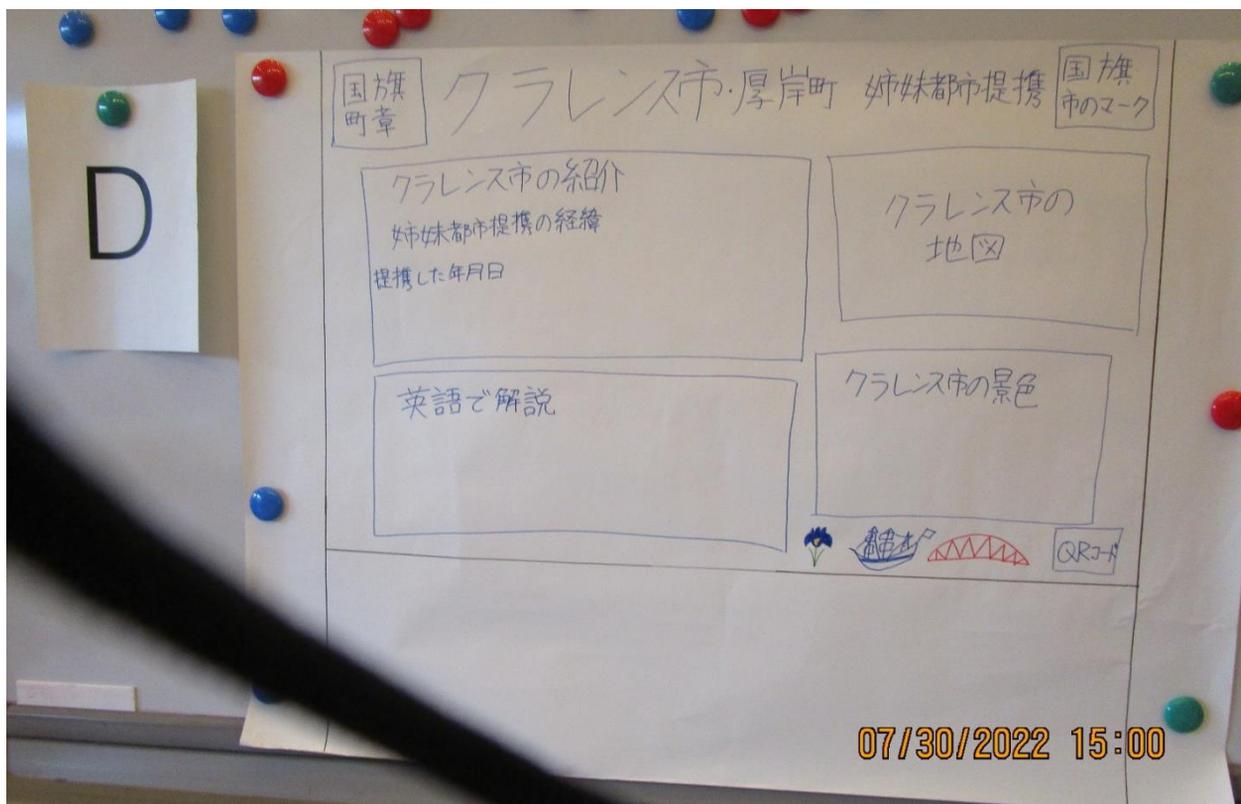
■看板に記入したほうが良いと思う内容

- タイトル「厚岸町×クラレンス市」
- クラレンス市の説明文及び姉妹都市提携日
- 厚岸町とクラレンス市のマーク
- 各姉妹都市の生き物や特産品の写真・イラスト
- 各姉妹都市の地図
(具体的にどこに位置しているか分かるもの)



■看板に記入したほうが良いと思う内容

- タイトル「姉妹都市ゆかりの地 末広海岸」
(日本語・英語表記)
- 厚岸町とクラレンス市のマーク
- 各姉妹都市の地図
- 姉妹都市提携の経緯



■看板に記入したほうが良いと思う内容

- ・タイトル「クラレンス市・厚岸町 姉妹都市提携」
- ・各姉妹都市の国旗・マーク
- ・クラレンス市の紹介文（英語での解説付き）
- ・クラレンス市の地図・景色（写真）
- ・イーモント号や厚岸大橋のイラスト
- ・QRコード（クラレンス市の魅力）

ワークショップ②

クラレンス市との交流をより深めるためには

Aグループ

現状や実体験

現状

オーストラリアに興味がある

コロナで海外に行けない

外国に興味を持っている人が少ない

英語を話せない

発音が難しい

英語を話すのが恥ずかしい

実体験

ティムタムがおいしかった

ホームステイ楽しかった

クラレンスの学生と共通の話題で盛り上がった

フィッシュアンドチップスがおいしかった

2月9日
クラレンス
デー

理想

クラレンスに行きたい!

厚岸にクラレンスの人を呼びたい

留学したい

ホームステイの範囲を「町民の高校生」に広げてほしい

外国の人と仲良くなりたい

クラレンスの高校生と気軽に交流したい

絵本・手紙・食文化の交換

ネットで交換先生（学校の授業）

コアラ欲しい

オーストラリアで動物に触れ合いたい

英会話を勉強できる講座を作ってほしい（学生向け）
※クラレンスの生徒とネットでお話する等

町民ができること、地域・団体ができること、行政がすべきこと

町民

パスポートを作る

英語の勉強

お金を貯める

地域・団体

クラレンスの食べ物を町内のお店で扱う

共通

クラレンス市のパンフレット作成

行政

交流のきっかけを作る

英会話講座

クラレンスの人と交換日記・ブログ・手紙などをする機会を作る

交流事業のための募金

学生のクラレンス訪問の再開

給食でクラレンスの食べ物

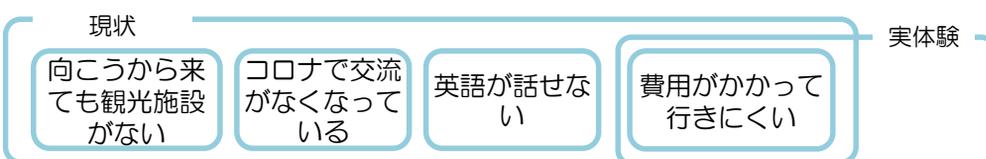
Aグループのまとめ

「現状や実体験」として、オーストラリアに興味があるが英語を話せない、新型コロナウイルスの蔓延により海外に行けない、町実施の姉妹都市交流事業に参加し、ホームステイできて楽しかった等の意見が挙がり、「理想」としてはクラレンスに行きたい、クラレンスの学生とネットでお話したい等直接的な交流と現在のコロナの状況を考えた間接的な交流について意見が挙がりました。

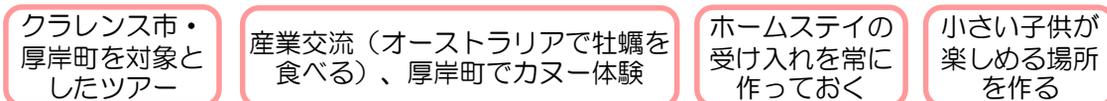
また、「理想」を実現するための施策として、英語の勉強、クラレンスの食べ物を町内のお店で扱う、交流事業のための募金等、具体的な内容が挙がりました。

Bグループ

現状や実体験



理想



町民ができること、地域・団体ができること、行政がすべきこと



Bグループのまとめ

「現状や実体験」として、厚岸町に目立った観光施設がない、クラレンスに行きたいが費用が高くて行けない、新型コロナウイルスの蔓延により海外に行けない等の意見が挙がり、「理想」としてはクラレンス市・厚岸町を対象としたツアーを実施したい等の意見が挙がりました。

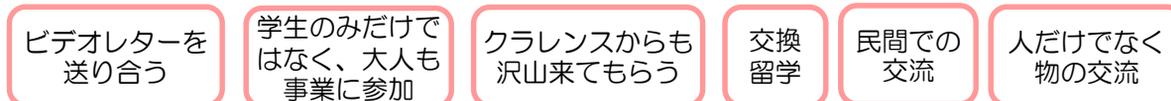
また、「理想」を実現するための施策として、語学の勉強、姉妹都市交流のための補助金の確保等の具体的な内容が挙がりました。

Cグループ

現状や実体験



理想



町民ができること、地域・団体ができること、行政がすべきこと



Cグループのまとめ

「現状や実体験」として、アイリスが実施する中高生を対象とした姉妹都市交流の実施、クラレンスからの訪問が少ない、新型コロナウイルスの蔓延により海外に行けない等の意見が挙がり、「理想」としてはクラレンスからも沢山訪問してもらう、学生だけではなく、大人も参加する交流事業を行う等の意見が挙がりました。また、「理想」を実現するための施策として、行政がどんな国際交流事業を行っているかを周知するPR活動等の具体的な内容が挙がりました。

Dグループ

現状や実体験

現状

オンライン
交流

ホームステイ、
インターン、
B & B

国際交流に触れ
る機会がない

コロナ禍の影響
で外国との行き
来ができない

姉妹都市であるこ
とを初めて知った

実体験

中学生の時に
クラレンスを訪問

民族衣装等を
着る体験

来日している
外国人との交流会

理想

交流を通じて自分の
視野を広げる

お互いの国のことを理解し合う

町民ができること、地域・団体ができること、行政がすべきこと

町民

語学の
勉強会

地域・団体

サブカル
チャーの
交流

行政

交換
留学

学校給食でオー
ストラリアの料
理を食べる

国際
交流
のPR

港を活かした、
水産関係の交
流事業

Dグループのまとめ

「現状や実体験」として、オンライン交流、民族衣装等を着る体験、ホームステイ・インターン・B & B（簡易的なホテルへの宿泊）、クラレンス市が姉妹都市であることを初めて知った、新型コロナウイルスの蔓延により海外に行けない等の意見が挙がり、「理想」としてはお互いの国のことを理解し合う等の意見が挙がりました。

また、「理想」を実現するための施策として、語学の勉強会、サブカルチャー（アニメ等）を通じた交流、行政がどんな国際交流事業を行っているかを周知するPR活動等の具体的な内容が挙がりました。

まとめ

今回の姉妹都市交流事業は、新型コロナウイルスが蔓延している状況に鑑み、クラレンス市への訪問・受入れ等は行わず、国際交流に興味のある人や姉妹都市交流事業に携わったことがある人等を対象とし、町の学芸員や元国際交流団体「アイリス」に所属していた方から、姉妹都市提携の経緯や交流の歴史を学び、ワークショップ形式で現行看板の更新に伴うデザイン案の作成、姉妹都市交流のあり方について考えるという、新たな試みにより実施しました。

参加者は、各講師からの講話について、頷きながら真剣に話を聞き、ワークショップについては、活発な意見交換を行っており、沢山のアイデアが挙げられましたので、今後の姉妹都市交流の事業内容等を考える上で活用していきます。ワークショップのまとめは、以下のとおりです。

ワークショップ①

「厚岸町×クラレンス市 姉妹都市提携看板のデザインを一緒に考えよう！」

各グループからデザイン案が発表され、参加者の方々から、看板を見てもらうことでどんな経緯で姉妹都市が提携されたのか知ってほしい、クラレンス市に興味をもってもらいたい、魅力を伝えたいという思いが伝わってきました。

看板に記入したほうが良いと思うものとして、厚岸町とクラレンス市のマークやクラレンス市の紹介・地図、末広海岸で座礁したイーモント号や厚岸大橋（単体で載せるといった意見や姉妹都市同士をつなぐ架け橋という意味を込めて厚岸町とクラレンス市のマークを厚岸大橋でつなげるイラストを記入しているグループもありました）を模造紙に記入したり等、沢山のアイデアが盛り込まれていました。

今年度、当課において姉妹都市ゆかりの地「末広海岸」に設置されている看板の更新を行う上で、各グループのアイデアを反映させたものを作成したい。

ワークショップ②「クラレンス市との交流をより深めるためには」

姉妹都市等国際交流のさらなる発展のためにどんな活動ができるのか、「現状と実体験」、「理想」、「町民ができること、地域・団体ができること、行政がすべきこと（理想を実現するための具体的な施策）」を各グループごとで考えてもらいました。

「現状と実体験」では、新型コロナウイルスの蔓延により現在海外に行きづらくなっていることや、アイリスや町が実施した町内の中学生・高校生を対象とした学校交流・ホームステイに参加し楽しかった思い出など、昔は色んな交流ができていたが、現在はあまりできていない状況に苦慮する意見が出ました。

「理想」については、クラレンスに行きたい、クラレンスから沢山人が来てほしい、海外の人と仲良くなりたいなど、交流の推進を望む意見が多く、「町民ができること、地域・団体ができること、行政がすべきこと」については、英語の勉強会の開催やサブカルチャー（アニメなど）を通じた交流、交流事業は旅費等費用が高額な面があるため、当該事業のための募金を募ったり、補助金を確保したりなど、町民が参加しやすい状況を作してほしいという意見が出ました。

また、「行政がすべきこと」として町がどんな国際交流事業を行っているかが町民にあまり伝わっておらず、PR活動にもっと力を入れたほうが良いとの意見が出ていましたので、今後の課題として受け止め、これからの姉妹都市等国際交流事業にて周知面を強化していきたいと考えます。

姉妹都市提携40周年記念事業

厚岸町×クラレンス市 40th Anniversary
～みんなで考える国際交流プロジェクト～

発行年月：2022年（令和4年）

発行：厚岸町

編集：厚岸町総合政策課

住所：〒088-1192 北海道厚岸郡厚岸町真栄3丁目1番地

電話：0153-52-3131

F A X：0153-52-3138